

「読書メモ」からユニークな視点、面白い話を紹介

今年も半ばを過ぎようとしているなか、これまでの読書メモを整理してみました。以下はユニークで面白かったものの列記です。物事に対する考え方、視点の違いが参考になるかと思えます。断片的ではありますが……。(いつか自分の記事に引用したいとも考えています。そのときは出典を明記して——)



- ◇ ピンチとチャンスはコインの表裏みたいなもの。左遷をチャンスにする生き方、考え方。
- ◇ 仕事の報酬は仕事。成し遂げたときに感ずる快感こそ、勤労の最大の報酬だ。
- ◇ 褒めるべきことを褒めるならば、費用は一文もかからないのに、その効果は測り知れない。褒められれば、努力が認められれば、さらに良い成績をと、頑張るのが人情である。無償の投資にしてなんて大きな収益だろう。
- ◇ 金は上手に使えば、人生の喜びは大きくなる。金は使って楽しむべきもので、守銭奴のようにためこむものではない。
- ◇ 世話を受けるより、世話をするほうでいた方が、ずっと元気でいられます。
- ◇ 社員はその会社のカラーになじもうと努力すべきではない。むしろ、自分のカラーで会社を染めてしまうくらいの意気込みが欲しい。
- ◇ 職場に行って、どなるくらいに「おはようございます」とやると、皆の見る目が違ってくる。こうなると一段と自信がついて積極的になる。大きな声を出すことは自分の殻を破ることだ。
- ◇ 「海の水がしょっぱいということを知るのに、その全部を飲む必要はない」
- ◇ ドアとふすまの違い。ドアは鍵がかかり、密室を作るがふすまは鍵がかからない。一家が同じ六畳の部屋に一緒に寝ている……。←現代の親子断絶の問題
- ◇ 1970 年出版の「日本人の探求」(会田雄次著)では「青年の国日本」としている。15 歳から 59 歳までの生産年齢人口の比率が日本は最も高い。(日本 65%、アメリカ 56%) →それから 40 年後の日本の現在はもはや「老人の国」だ。←この時代の変遷！
- ◇ 日本人が和服を着て、蛇の目傘を手に、芸者と人力車に乗っている半世紀前のイメージ(アメリカではカーボーイ姿の白人がインディアンに襲われる幌馬車シーン)から、現代は“Made in Japan”製品が日本のイメージを作り出している。
- ◇ 会社の知名度いかんによって個人の社会的地位までもが評価される“不思議な国ニッポン”。
- ◇ 軍といえば、ふつう外国の脅威に対する手段のはずが、中南米やアジア・アフリカの独裁国では、国内の抵抗勢力に対する治装置の側面が強い。
- ◇ ラテン・アメリカ＝日本の面積の 60 倍近い。アマゾン、ラブラタ、オリノコ川の大河……

これに比べると日本の川は地図にも載せられないほど短い。

- ✧ 中南米に行くと何が起こるか分からない。盗まれるか、騙されるか、誘拐されるか、下痢をするか、おまわりにチップを要求されるか・・・この不愉快な体験の中にペーソスを発見して楽しくてやみつきになる人と、もう二度と行かない、と嫌がる人がいる。
- ✧ 日本の男性を世界のランクで見ると、面白みのない男のトップ 3 に入るけど、日本の女性はガールフレンドにしたいトップ 3 に入っているんだって・・・
- ✧ 「やりたい」と思ったときが一番パワーが充実している“旬”の時だ。すぐに行動を起こせ！！
- ✧ やりたいことが出てきた時に思い切って身銭を切れば、それが自分の中で実になっていく。自分に“投資”するのだ！！
- ✧好きなことを自分の好きなようにやっているかぎり、ストレスにはならないから、過労死など心配する必要はない。
- ✧好きでやっているのなら、いつか日本一、世界一と同じレベルに立つことだって夢ではない。
- ✧「投稿」はやはり、自分でなければできなかつたことを書くと採用される率が高くなる。
- ✧人から礼状を受け取るうれしさ。世話になった時は必ず礼状を出すこと。たった 50 円で思いもかけなかつた縁が開けることもある。
- ✧インターネットは「第二の黒船」との認識です。
- ✧「ウェブ進化論」→時代は“総表現社会”ともいうべき方向に進んでいる。ネット上に自分の分身（ウェブサイト）を作ると、リアルな自分が働き、遊び、寝ている間も、その分身がネット上で稼いでくれる世界が生まれた。
- ✧「ウェブ時代をゆく」→英語力を徹底的に磨くことこそが、これからの知的生活の充実に必要不可欠である。
- ✧未来とは予想するものではなく自分で創るものですから、明るいと思ふべきです(茂木健一郎)。



- ✧ 文章の一番の条件は、「これこそ書きたい」「これを伝えたい」という書き手の心の静かな炎のようなものです。
- ✧ 自慢話より失敗談を！自分の欠点を容赦なく書く。手柄話は読者からそっぽを向かれる。
- ✧ 文章→削れば削るほど文章の本質が浮かび上がってくる。